

知名町の魅力ポイント

■面積 53.3km² ■人口 約5,600人 ■指定地域 奄美

■ どこまでも続く透きとおった青い海と白い砂浜

島には手つかずのビーチが残り、シュノーケリングで少し潜れば熱帯魚やサンゴを見られます。
少し沖まで出てダイビングをすれば、ウミガメやザトウクジラにも出会えます。

■ 地底に神秘の空間が広がる鍾乳洞

島には200以上の鍾乳洞があり、洞窟を探検するアクティビティ「ケイビング」を楽しめます。
手軽に入れる観光名所の「昇竜洞」から、ヘッドライトを付けて入る本格的な洞窟まで様々です。

■ 南国特有の花や野菜・果物、海産物

マンゴーやイセエビなどが特産品で、ふるさと納税の返礼品にもなっています。
青パイアや島バナナは、島で日常的に食べられる野菜や果物です。

沖永良部島
知名町と和泊町からなる隆起
サンゴ礁の島。



特産品はイセエビやマンゴー

都会の慌ただしさから離れて、ゆったりした【島時間】が体感できる知名町だボー。
オフシーズンにはサッカーの遠藤航選手や阪神の近本光司選手も来てくれるボー！

一年を通して亜熱帯の美しい花々が咲く
(左：ハイビスカス、右：エラブユリ)

ちなボー



ケイビングで地球の神秘を体感



島のあちこちに広がる美しいビーチ

知名町の課題

■ 政策分野 環境・脱炭素

- 離島のためエネルギー供給に脆弱性があることから、島全体で脱炭素化を推進。R4年4月に環境省の脱炭素先行地域に認定され、再生可能エネルギーやEVの利用促進等に取り組んでいる。
- EVの利用促進について、EV導入後の民間等による持続的な運営が課題。
- 営農型太陽光発電の実施を検討中だが、栽培作物の検討、地元との合意形成等が課題。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- R4年度は、地域マイクログリッド事業を担う地域新電力会社の設立に向け、月1回程度のweb打合せと9月の現地訪問を行い、会社設立に必要な手続きや他地域での事例を情報提供。
- R5年度は、月1回程度のweb打合せを実施し、EV、営農型太陽光発電等の事例や支援制度について情報提供。

取組の成果

- 提供した情報を参考にしつつ、知名町が地域マイクログリッドやEVの実証事業を実施。

今後の展望

- 地域マイクログリッドの構築や、産学官連携によるEVの実証事業等により、島内のカーボンニュートラル化を推進し、地域課題解決の手段として脱炭素関連事業を実施していく。



R5年度に実証事業を実施したEVのグリーンスローモビリティ（地域交通・観光分野での普及を目指す取組）